



家づくりで大切な屋根のこと

高い品質、デザイン性を誇る石州瓦
熊本で選ばれている理由とは？

家を建てる時、間取りや工法などに目が行きがちですが、どんな屋根にするのか意識することも素敵な家づくりの一步です。近年、400年超の歴史を持つ石州瓦が熊本で人気を集めていると聞いて、その魅力をリサーチしてみました。



おしゃれな洋風建築から
和風建築まで対応

みなさんは石州瓦をご存じですか？
石州瓦とは、日本三大瓦産地として知られる島根県石見地方で生産され、国内シェア2位を誇る粘土瓦のこと。中国地方を旅したことがある人なら、赤い瓦の屋根が連なる美しい町並みに目を奪われた経験があるかもしれません。

熊本ではその石州瓦を使った家が年々増加。石州瓦の出荷先として、地元島根県や広島県などと並び、全国ベスト5にランクインしています。

どうして熊本で人気があるのか。まず注目したいのがその豊富なラインナップです。石州瓦という赤い瓦が有名なのですが、実は多彩な種類がそろっています。

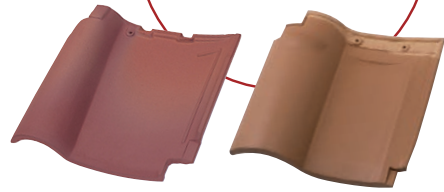
素敵な洋風建築によく合う「洋瓦（石州S形）」をはじめ、和洋の家をスタイリッシュに見せてくれる「平板瓦（石州F形）」、伝統的な和風建築に適した「和瓦（石州J形）」まで、さまざまなニーズに添えてくれるところが魅力といえます。

そして、400年を超える歴史を持つ石州瓦には、家を守るための最新のノウハウが詰まっています。台風や地震に強いのはもちろん、塩害や凍害にも強く、その品質は全国で高い評価を受けています。さらに高い耐久性があり、丈夫で長持ち。最近、よく耳にする長期優良住宅にも適した瓦といえます。

石州瓦工業組合の佐々木啓隆専務理事は、「もともと熊本は、古くから瓦文化があった土地柄。熊本の方は目が肥えているので品質が高く、ラインナップも豊富な石州瓦が受け入れられているのかもしれない」と話します。

洋瓦

（石州S形）



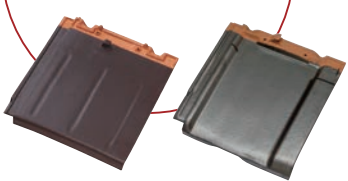
ヨーロッパの町並みを思わせる洋風スタイルの家に最適の瓦。S形の「S」は、スペインの頭文字ともいわれ、瓦自体もS形をしています。外観に個性を与えるこのタイプはカラーバリエーションも豊富です。



近代的な都市型洋風住宅に最適
モダンで豊富なカラーが魅力

平板瓦

（石州F形）



モダンでシンプルな外観を好む施主から注目を集めているタイプ。明治初期に国内で建てられた洋風建築で多く使われました。そのシャープでシックなたたずまいは、和洋問わず、現代のスタイリッシュな住まいによく合います。

和風にも洋風にも対応
ヨーロッパ発の瓦スタイル



和瓦

（石州J形）



石州瓦400年の歴史と真髄を感じさせる和タイプ。地震や台風、夏の日差しなどから家を守る知恵が結集した瓦で、デザイン性にも優れています。

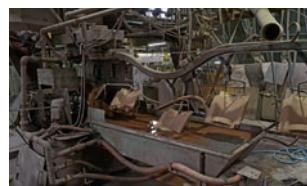
熊本の気候風土に適した
伝統建築に欠かせない瓦

石州瓦のふるさと、島根県

安土桃山時代から石見地方で始まったとされる石見焼の水瓶。石州瓦はこの石見焼がもととなって生まれたといわれています



石州瓦の工場内部。耐久性に優れた高品質の瓦が次々と生産されています



赤瓦の集落が広がる島根県津和野町。独特の赤い景観が周囲の緑によく映えます
提供／石見観光振興協議会

石州瓦に関する問い合わせ

名品は永遠
石州瓦工業組合

<http://www.sekisyu-kawara.jp/>

島根県江津市嘉久志町イ405
☎0855-52-5605 FAX 0855-52-0766
E-mail rooftile@tx.miracle.ne.jp

屋根の学校 検索